

2019年9月開講

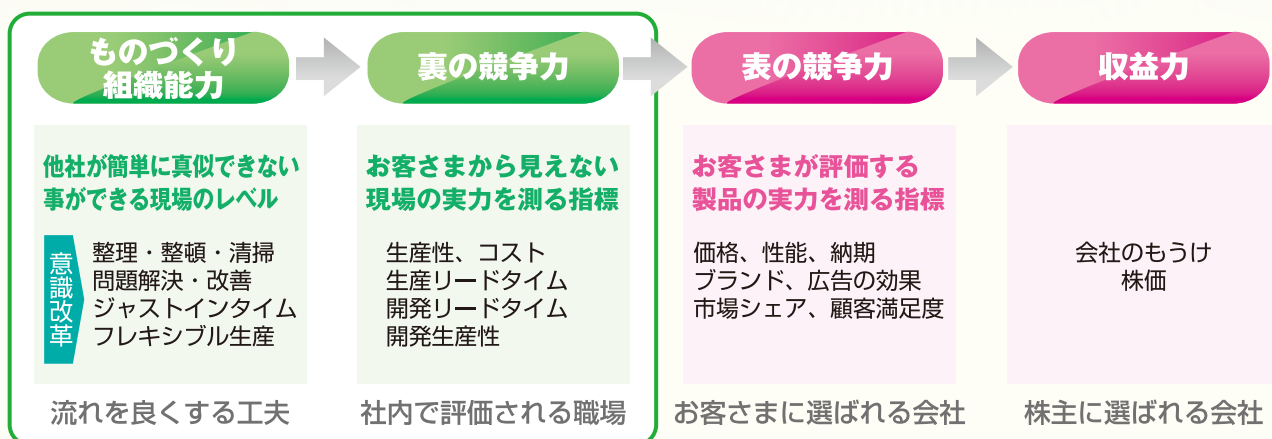
富山市ものづくり改善インストラクター養成スクール

受講生募集案内

座学教育と実践教育により、 企業の中核人材を育成します

ものづくり改善インストラクターの使命

人・モノの流れをよくする活動≡ものづくり組織能力・裏の競争力
まず能力構築から…「現場＝体を鍛える」トヨタ流戦略



出典：東京大学大学院 藤本隆宏教授

スクールの開設意義

富山市は、医薬品や機械、電子部品など、「ものづくり産業」が盛んな工業都市として発展してきました。一方、少子・高齢社会の進行による生産年齢人口の減少が進むなか、労働力確保が困難となっております。このような状況のなか、本市の「ものづくり」がその競争力を維持・向上していくためには、ものづくり現場を改善し、生産効率を高めることのできる人材の育成が必要です。

本スクールは、市内企業の製造現場の責任者などの方々を対象としており、製造現場における改善活動の中核人材を育成することにより、企業の生産性を向上することを目的としております。

実践的・体系的なカリキュラム

「東京大学ものづくり経営研究センター（センター長：藤本隆宏教授）」の協力により富山市が実施・運営するカリキュラム（講義と現場改善実習）に基づく、ものづくり企業の「現場改善」のための実践的な講座です。

各講座は、同センターの協力により、製品の企画・開発から生産まで、幅広い領域をカバーできる、経験豊富で多彩な講師陣が担当します。

講座日程

日付	時間	講師	講座テーマ
9月14日[土]	9:30-12:30	棚邊	開講式・自己紹介(1.0)、ものづくりの基礎概念(2.0)
	13:30-17:00	棚邊	ものづくりの基礎概念(2.0)、ものづくりの競争力(1.5)
9月21日[土]	9:30-12:30	棚邊	プロセス分析(3.0)、コストと生産性(2.0)、納期と工程・在庫管理(1.5)
	13:30-17:00		
9月28日[土]	9:30-12:30	御代川	品質管理、QC7つ道具・問題発見の着眼点(6.5)
	13:30-17:00		
10月5日[土]	9:30-12:30	御代川	5S討議、現場改善の進め方(6.5)
	13:30-17:00		
10月12日[土]	9:30-12:30	浅野	I Eの基礎(6.5)
	13:30-17:00		
10月19日[土]	9:30-12:30	浅野	標準作業と標準時間(4.5)、作業改善(2.0)
	13:30-17:00		
10月26日[土]	9:30-12:30	黒川(4.0)	1時間で始めるSmart Factory ～小さな投資 大きな進化 生産性IoT進化論～(6.5)
	13:30-17:00	棚邊(2.5)	
11月2日[土]	9:30-12:30	雨宮	コミュニケーションの基本(2.0)、コミュニケーションの進め方(2.0)、 インストラクティングの基本(2.5)
	13:30-17:00		
11月9日[土]	9:30-12:30	伊藤	ものと情報の流れ図(6.5)
	13:30-17:00		
11月16日[土]	9:30-12:30	浅野	現場実習の事前打ち合わせ(1.0)、実習企業見学・チームディスカッション(5.5)
	13:30-17:00	御代川 井上	
11月22日[金]	9:30-12:30	浅野	現場改善実習①
	13:30-17:00	御代川 井上	
11月23日[土]	9:30-12:30	浅野	チームディスカッション①
	13:30-17:00	御代川 井上	
11月29日[金]	9:30-12:30	浅野	現場改善実習②
	13:30-17:00	御代川 井上	
11月30日[土]	9:30-12:30	浅野	チームディスカッション②
	13:30-17:00	御代川 井上	
12月6日[金]	9:30-12:30	浅野	現場改善実習③
	13:30-17:00	御代川 井上	
12月7日[土]	9:30-12:30	浅野	発表資料の作成(6.5)
	13:30-17:00	御代川 井上	
12月13日[金]	9:30-12:30	浅野	成果発表・個人発表作り(6.5)
	13:30-17:00	御代川 井上	
12月14日[土]	9:30-12:30	各講師	成果発表・個人発表(5.5)・修了式(1.0)
	13:30-17:00		

講座概要

	講義名	講師	講義の概要
1	ものづくりの基礎概念	棚邊	東京大学・藤本教授の“ものづくり観”（良い設計・良い流れづくり）を論理的かつ体系的に学びます。本講座カリキュラムの全体像をガイダンスすることにより、教育内容を効率的に体得し、成果に結びつけることができます。
2	ものづくりの競争力	棚邊	顧客からは見えない競争力（裏の競争力）を強化することの重要性を理解してもらいます。裏の競争力、即ち「ものづくりの組織力」の強化がトヨタをはじめとする日本のものづくりの強さであることを学びます。多くの企業が遭遇する「ものづくりの組織力」を阻害する従業員の意識をどのように改革するか、共に学びます。
3	プロセス分析	棚邊	後半の実習に必要な「プロセス分析」について、その概要を事前に理解してもらいます。優先順位を、組織全体の視点から検討できる「全体最適のプロジェクト・マネジメント」について学びます。
4	コストと生産性	棚邊	原価企画と原価管理、生産性と作業分析、トヨタ生産方式におけるムダの捉え方とその排除の方法等、そのコスト低減活動について学びます。
5	納期と工程・在庫管理	棚邊	IoTはあくまでも情報処理。生産リードタイムの短縮、仕掛在庫の一扫が工程管理の基本であることを学びます。
6	品質管理	御代川	品質概念の定義、品質管理の基礎的な理論を学びます。
7	QC 7つ道具	御代川	品質問題の解決に役立つツールの使い方を学びます。
8	問題発見の着眼点	御代川	「基準／標準」と「実際／現状」との差、4Mの変化点管理、品質データの推移などから問題を顕在化するスキルを学びます。
9	5S討議	御代川	5Sの意義・必要性と5S改善の進め方を学びます。
10	現場改善の進め方	御代川	現場改善の進め方のステップを学び、現場にある問題点を見つけて改善できる、改善インストラクターとしてのスキルを身につけます。
11	IEの基礎	浅野	現場の作業改善の基礎であるIE手法を学び、その考え方を演習を通じて活用方法を理解します。
12	標準作業と標準時間	浅野	工場管理の基礎である標準作業と標準時間について、その作業設定や時間測定の方法を理解します。
13	作業改善	浅野	現場の問題点を抽出する着眼点を学び、改善につなげる方法を理解します。
14	1時間で始めるSmart Factory ～小さな投資 大きな進化 生産性IoT進化論～	黒川 棚邊	・IoTについての基礎講習 ・模擬ラインを使った演習 ・IoTシステムの概要説明。 ・発表、質疑、ディスカッション。
15	コミュニケーションの基本	雨宮	信頼関係が構築できるように、コミュニケーションの基本を学びます。
16	コミュニケーションの進め方	雨宮	相手の立場を理解し、自分の考え方を伝えるポイントを理解します。
17	インストラクティングの基本	雨宮	現場改善の効果を上げるために、質問の技術、聴く技術、説得の技術などを学びます。
18	ものと情報の流れ図	伊藤	現場実習で必ず作成する「モノと情報の流れの図（VSM）」とは何か、VSMを用いて全体俯瞰の視点から良い流れの阻害要因を把握するとはどういう意味があるかなどを、この講義でしっかりと学びます。
19	現場改善実習 チームディスカッション	浅野 御代川 井上	チームごとに、実際の生産現場において、現場調査・問題点の抽出・改善案の策定及び提案を行い、講義で学んだ理論や手法を確実に身に付けます。

講師紹介



校長

棚邊 一雄

1970年アイシン精機(株)に入社。1972年アイシン軽金属に転籍し、生産技術部門、TQC部門に従事。ダイカスト工場長、常務取締役、専務取締役を歴任。その後、グループ会社の社長に就任。

退任後は、M&P研究所を設立し、中小企業の改善、ものづくり支援に関する指導・コンサルティングに従事。東京大学ものづくりインストラクター(R)としても活動中。



講師

浅野 邦明

日産自動車(株)の工場で、I E技術を基軸に標準時間設定・能率管理、改善及び原価・VA等の業務に従事。製造現場だけでなく、購買分野にも活動範囲を広げ、国内のみならず海外のサプライヤー体質改善活動・部品原価低減活動、海外拠点の研修生に対する教育なども実施してきた。2005年東京大学ものづくりインストラクター養成スクール修了(1期)。群馬ものづくり改善インストラクタースクールに参画し講師を務め、現在は地域スクールの延岡、福井等で講師を務めるほか、中小企業の改善に従事している。



講師

御代川 忍

キヤノン(株)で、ファクシミリやプリンターの生産現場の管理・監督業務に従事。カリフォルニア工場やセル生産の立ち上げなどの生産現場を担当し、その後、取引先の現場改善や国内外生産拠点の生産革新研修などの人材育成業務を行う。東京大学ものづくりインストラクター養成スクールを5期生として修了後、現在はいばらき生産性向上人材育成スクールで現場改善の講師を務めるほか、茨城県内を中心に中小企業の現場改善に従事している。



講師

井上 正喜

富士電機(株)で、自販機や店舗向け機器等の新製品開発設計・量産設計から生産管理、工場経営及び自販機ビジネスの統括・推進を担当し、ものづくり経営全般に精通している。東京大学ものづくりインストラクター養成スクールを13期生として修了し、中堅・中小企業を対象としたものづくり改善スキルを習得している。



講師

黒川 龍二

旭鉄工(株)に入社後、生産技術・工程改善活動に携わる。木村社長の指示を受け、ものづくり改革室を立ち上げ、トヨタ生産方式に基づいた改善を推進。その活動の中で、IoT技術を活用した「製造ライン遠隔モニタリングシステム」の開発を主導し、実際の運用にも携わり大きな成果をあげる。現在、そのシステムを他の中小企業にも展開するため設立した「i Smart Technologies(株)」の執行役員COOとして業務全般を取り仕切りつつ、旭鉄工(株)の執行役員及びコンサル事業部長も兼務する傍ら、各地で講演活動を行っている。



講師

雨宮 利春

1976年青山学院大学経済学部経済学科卒業。民間企業にて営業本部マネージャーなどを歴任後、経営コンサルタント・研修インストラクターとして独立。現在は(一社)人財開発支援協会代表理事として、コミュニケーション、対人折衝、クレーム対応等の技術指導で組織の人材開発を支援し、企業や団体などの研修講師を務める傍ら、後進の指導育成にあたっている。静岡、諏訪、和歌山等各地の地域スクールでコミュニケーションの講座を担当している。



講師

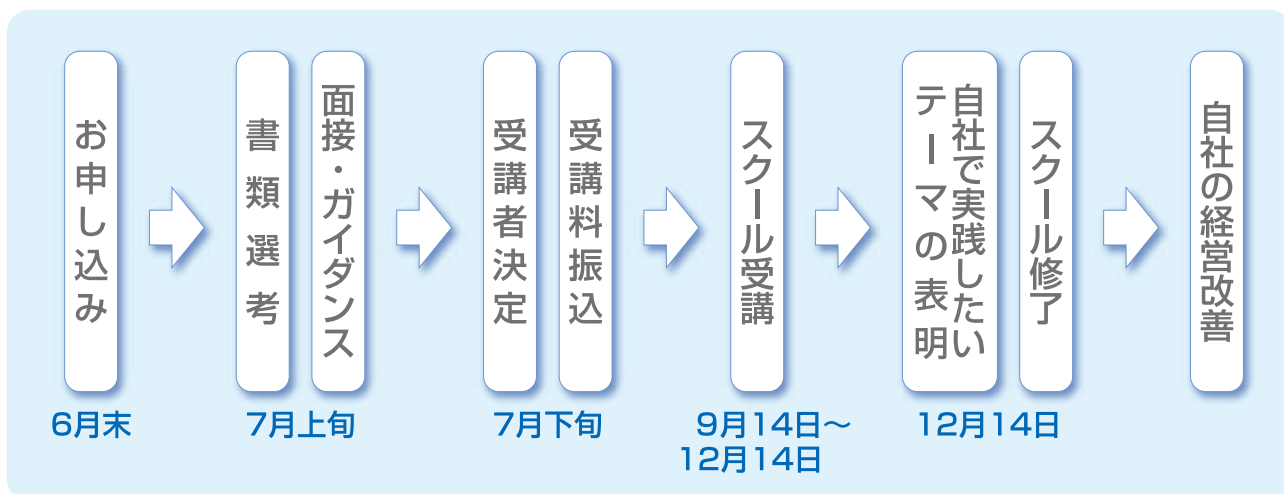
伊藤 雄三

米国系精密フィルターメーカーの日本製造法人設立に携わり、以降、管理・経営統括を30年以上務める。原価・管理会計制度の構築、人事・人材育成制度の設計、グローバルなITインフラやERP導入、工場全体のマネジメント、特にLean生産の実践を行う。現在は、NPOワイ・リサーチ・イノベーション代表理事として、山形県・大手企業と連携し事業を展開する傍ら、ものづくり改善ネットワークに所属し、静岡、和歌山、東京の地域スクールで講師を務めている。

受講生募集概要

- 開講期間 **2019年9月14日(土)～12月14日(土)**における18日間
- 場 所 [講 義]：富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地研修センター
(富山市四方荒屋497番地13 地図参照)
[現場改善実習]：各協力企業の製造現場
- 応募対象 富山市内に工場等を有する企業の製造業の現場責任者または、それに準じる者
- 募集人員 10名程度
- 受講料 30万円
- 申込期間 6月3日(月)～6月28日(金)

申し込み・受講の流れ



申込方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、職務履歴書及び会社案内を添付し、富山県中小企業団体中央会(〒930-0083 富山市総曲輪 2-1-3)へ提出してください。
申込書は以下のWEBサイトからダウンロードしてください。
<https://www.chuokai-toyama.or.jp>

受講者の決定

面接実施後に受講者を決定する予定です。結果は書面にて通知します。

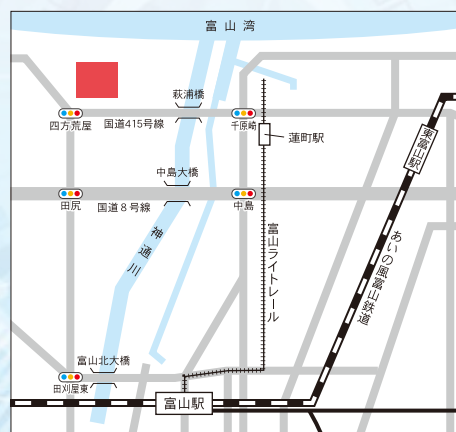
お問い合わせ

富山県中小企業団体中央会

〒930-0083 富山市総曲輪 2-1-3
TEL : 076-424-3686 FAX : 076-422-0835
E-Mail info@chuokai-toyama.or.jp

富山市商工労働部工業政策課

〒930-8510 富山市新桜町 7-38
TEL : 076-443-2166 FAX : 076-443-2183



国道8号線田尻交差点から車で5分